

令和5年度第2回さいたま市公共事業評価審議会 摘録

- 1 開催日時 令和6年1月26日（金） 10時から11時00分まで
- 2 開催場所 ときわ会館 5階 小ホール（オンライン会議）
- 3 出席者 委員 桑田会長 伊藤委員 小池委員 深堀委員 八木澤委員
山崎委員 吉沢委員
さいたま市 建設局 池田理事
建設局土木部道路環境課 小峰参事兼課長 外5名
都市局都市計画部都市総務課 田中主査
都市局まちづくり推進部浦和東部まちづくり事務所
横田参事兼所長 外2名
都市局まちづくり推進部市街地整備課 井伊主任
事務局（建設局技術管理課） 竹越参事兼課長 外3名

4 議 事

(1) 議案審議

〔事後評価〕 安心・安全なみちづくり（第2期）（防災・安全）

〔事後評価〕 生活空間における交通安全対策（防災・安全）

〔事前評価〕 美園地区（第2期）都市再生整備計画

(2) その他

5 傍聴者 1名

6 議事内容

(1) 議案審議

〔事後評価〕 安心・安全なみちづくり（第2期）（防災・安全）

〔事後評価〕 生活空間における交通安全対策（防災・安全）

[道路環境課より説明 資料1]	
伊藤委員	<p>《質疑応答》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心・安全なみちづくり（第2期）（防災・安全）」の指標③について、総務省等でも自治会の存在について、課題が多いと言われているなかで、万人に必要な災害リスクの周知を自治会での説明会でいいのか、今後類似の指標を設定する際には、デジタル化も含め検討してほしい。
都市総務課 小池委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見を踏まえ、検討したい。 ・指標①について、交通事故の件数を低減させるという指標だが、市内の交通事故数の低減率では、今回の道路整備をしていない場所での事故も

<p>道路環境課</p>	<p>入ってしまう。また、すべての交通事故が歩道がないために起こったわけではないので、事故原因を考慮することなく、カウントしているのであれば、整備による効果とは言いにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにカウントしたのか、説明いただきたい。 ・また、どのような理由で指標を設定したのか説明いただきたい。
<p>八木澤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、この指標については、さいたま市全域での件数をカウントしており、今回の歩道整備を行った箇所における事故件数については、把握していない。ご指摘を踏まえ、次回の指標設定時に検討したい。 ・なお、本指標を設定した経緯としては、ゾーン 30 などは通学路を含めた生活道路の安全対策であり、一体的に効果が出るものと考えて設定したものである。
<p>道路環境課 桑田会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指標①についても目標値と実績値に差が出ており、指標③と同様に様式 2 に要因を記載した方がいいのではないかと。この時期はコロナなどもあり、人の移動が減ったことも要因ではないかと。 ・ご意見いただいた内容を踏まえ、要因を記載する。 ・差が出た要因を記載する際に、あわせて、事故件数のカウントが市全域になっていることも要因として記載してはどうか。
<p>道路環境課 吉沢委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り記載する。 ・資料の要素となる事業の 16 番自転車通行環境整備事業に関して、10 年ほど前に 200 km 程度の整備計画を策定したと思うが、現在どのくらい整備しているのか。 ・自歩道の脇に自転車通行環境整備をしたが、自歩道が解消されないまま残っているものがある。行政として、建設局だけでなく、市民局とも連携を図りながら、啓発のようなソフト面の取り組みはどのようにしていくのか。
<p>道路環境課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、自転車通行環境を整備するあたり、車道通行が原則であることから、矢羽根等で整備をしているが、車道を整備した後も自歩道の規制が残っている状況は警察とも協議し、運用しているものである。しかしながら、その運用がわかりにくいところもあり、市民局と連携してソフト対策を行っている。引き続き、進めていきたい。 ・整備実績については、令和 5 年 3 月末で目標値 200 km に対して 197 km の整備を実施している。
<p>深堀委員</p> <p>都市総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指標③について、住民自ら地区の災害リスクを周知できるという表現が入っているが、行政側が説明会で周知するというものとは若干違いがある。この指標の設定の意味を説明いただきたい。 ・災害リスクは、個々の建築物や身近な道路、公園などのオープンスペースなどと深く関係しており、行政の取り組みだけではなかなかリスクの改善ができないことから住民の取り組みが不可欠である。 リスク改善のため、住民に自分事として防災まちづくりに取り組んでもらうには、まず、災害リスクを理解してもらうことが重要と考え、この指標を設定した。

<p>桑田会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害リスクを周知できるというのは、他人に説明できる程度に内容を理解できている人という意味で使用した。 ・指標①については、指摘のあった点を加筆することとしたうえで、市の事業評価（案）を承認することによろしいか。 <p>(意見なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件の審議は以上。
-------------	--

〔事前評価〕 美園地区（第2期）都市再生整備計画

<p>[浦和東部まちづくり事務所より説明 資料2]</p>	
<p>《質疑応答》</p>	
<p>伊藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対数回帰により目標値を設定しているとのことだが、令和元年度の数値を教えてほしい
<p>浦和東部まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者数は44万9千人、駅の乗降客数は鉄道事業者から令和2年度分より提供いただいており、把握していない。しかしながら、ヒアリングを行った結果、コロナにより乗降客数は減少しているとのことであった。
<p>山崎委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらの指標も浦和美園駅を使った人を基本にしているが、電車利用者以外の集客はないのか。 ・また、年々増加するとの説明であったが、イベント時や人口が増加した際に鉄道の本数が増えるなどの動きはあるのか。
<p>浦和東部まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電車以外の集客としては、定期路線のバスがある。 ・目標値では、日常時での交流人口を増やすことを考えており、埼玉スタジアムでの代表戦やJリーグの開催時は含めないこととしている。
<p>山崎委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常利用は増えているのか。 ・コロナで落ちたものが徐々に増えている状況である。
<p>浦和東部まちづくり 深堀委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題・目標」に「埼玉スタジアムでのイベント開催時における賑わい・交流だけでなく」と記載されているので、乗降客数だけだと指標としては大雑把だと感じている。 ・イベントの質的なものを考慮し、社会実験でのアンケート結果を評価に活かしてはどうか。 ・この地域は住環境でも課題を抱えている面があるので、賑わい交流と同時に静穏な環境をどう両立していくのかを考えていく必要がある。
<p>浦和東部まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートなどのソフト面の指標については、個別の社会実験の事業やさいたま市のアンケート調査などを利用しながら、整備計画の指標ではないが、ご指摘のとおり参考にしたいと考えている。 ・住環境の整備についても、ウォークブルという観点から、住まわれている方の歩きやすさ、住みやすさも課題となるので、社会実験を踏まえな

山崎委員	<p>がら、この事業の中で考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標3では、「地域の特色を活かした賑わい・滞留・交流の創出」と書かれているが、他地域でもあるような事業となっており、この地域の特色についてはどのぐらい考えているのか。
浦和東部まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域は、埼玉スタジアムがあり、浦和レッズのホームタウンであることから、これらとの連携や、さらに公民+学でのエリアマネジメントという取り組みも行っており、こうした地域の特色を生かして事業を進めていきたい。
山崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域に比べ、この地域では緑が多いので、活かすことも考えてほしい。
桑田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価調書に記載する項目はないが、今まで出てきた意見について、事業実施の際に検討して進めてほしい。 <p>(意見等以上)</p>
桑田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの市の事業評価(案)に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。 <p>(意見なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件の審議は以上。

(2) その他(議事録の確認について)

	<p>今回の審議会の議事録は、桑田会長より指名した、伊藤委員及び八木澤委員が事務局で作成する議事録を確認することで了承。</p>
--	--